

# 観音

平成9年3月  
第26号

発集発行

広島県安芸郡府中町  
茂陰2丁目2-8-10  
真言宗 正観寺  
小出真行



地鎮祭 平成8年11月18日(土公供)

なやみ苦しむ煩惱は

仏を信ずる種となる

昨年、十一月十八日(月)に、宝勝院御住職、福王寺住職に御助法していただき、「正観寺、本堂・壇信徒会館」の地鎮祭を厳肅な仏式にのっとり執り行いました。尚この模様は、カワサキ電機様によりビデオ撮影と、木本フォー  
ト様による写真撮影があり、厳かな式の一部始終が手にとる様にわかります。  
あまり普段お目にかかれない仏式の地鎮祭に興味のある方は一報下さい。



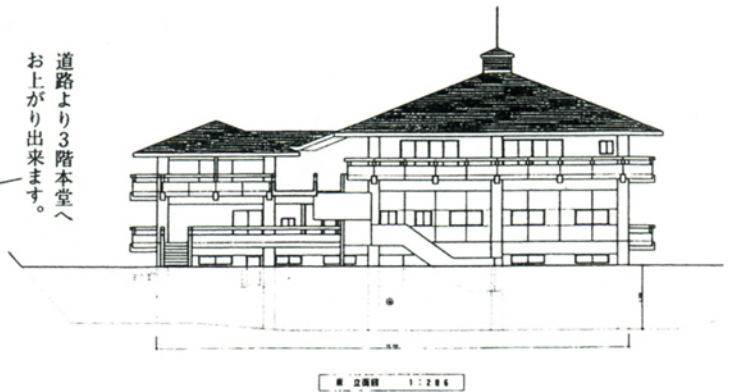
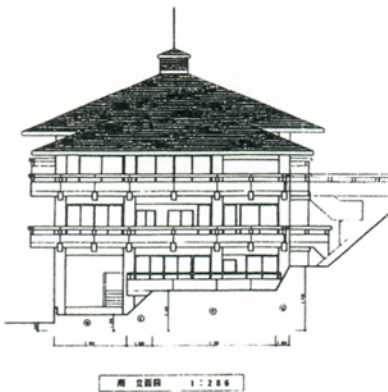
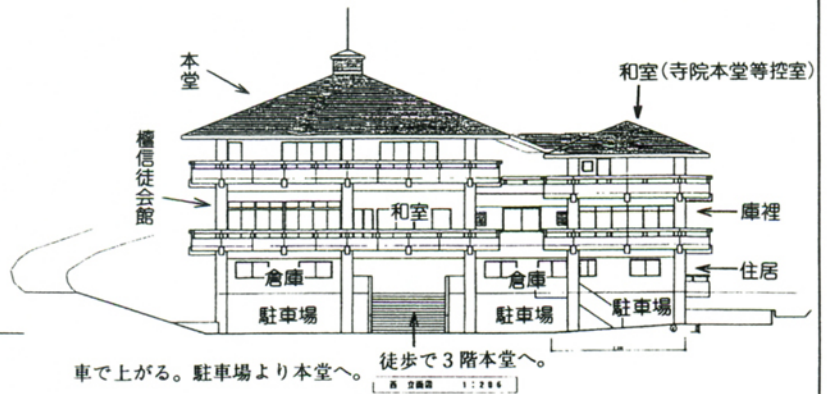
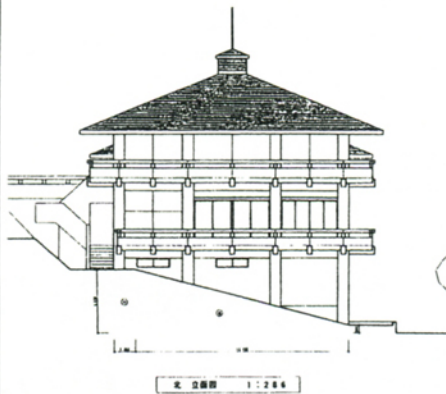
「正観寺、本堂・壇信徒会館」 建立事業も二月二十日(木)に2階床のコンクリート打ちも終わり、四月末日頃には、全貌がわかる予定で、工事も順調に進んでいますので、八月二十四日(日)の地藏祭にはまにあうことと思います。

尚、八月二十四日(日)の地藏祭に、徒歩でのお参りの方は、一階正面、駐車場からの階段を利用して三階本堂へ、車でお越しの方は、上部駐車場に車をおき、直接三階の本堂にお参り下さい。



現在、二百名余りの篤信者の皆様に御奇進の申し込みがあります。この浄財は、新本堂の仏具、荘厳具の費用にいたしますので御了承下さい。

尚、新しく紀州松を材料としての「弘法大師座像」「阿弥陀如来立像」を、岡山に存住の長谷川隆鳳仏師にお願いし、製作中で、地藏祭には「弘法大師座像」を、来年の落慶法要までに「阿弥陀如来立像」が入佛される予定ですのでこう御期待を！



# 『塔婆のいわれ』

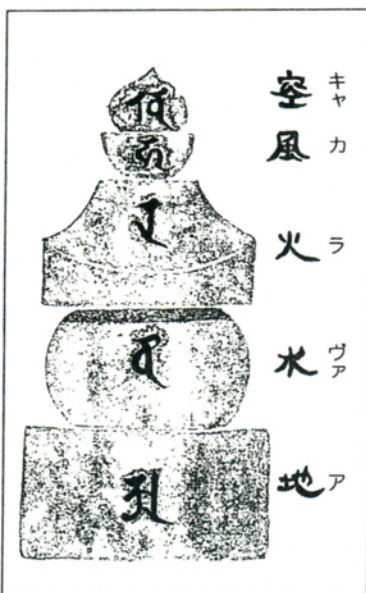
塔婆とは、普通葬儀や法要のときに墓地にたてる故人の戒名などを記した細長い木の板を指し、サンスクリット語でストゥーバ、パーリ語でトゥーバといい、元来「積み重ねる」という意味をもっていました。中国では「卒塔婆」と書かれ、これが略されて「塔婆」となったのです。

インドでお釈迦さまが入滅されたときにその舍利（遺骨）を八分し、土まんじゅう形の円塚を造ってその中に納めたといい、その廟をストゥーバといい、のちに仏教の保護者アショーカ王がインドの各地に石柱のストゥーバをたててお釈迦さまの遺徳をたたえ、仏教の流布につとめたと伝えられています。

このようにストゥーバはもともと仏舎利を納めた塚でありましたが、次第に石柱で造られるようになり、その高さは五〜六メートルもあるものが多いようですが、この様に高くなつたのも塔は天と地を結びつける軸を意味し、天なる宇宙と地上のお釈迦さまの舍利を連結する場として礼拝されていたようです。

紀元前二世紀にたてられたというサンチー

の仏塔は、円型の基壇の上に伏鉢をつくり、そこに平頭をおき、その上の竿に傘蓋をかぶせてあり、この竿の部分が、中国や日本でも見られる五重塔上の相輪で、宝珠、竜車、水煙、宝輪、請花からなり、それぞれが「空・風・火・水・地」という宇宙をなりたたせている五大元素を象徴しています。これから五大元素に相応する「方・円・三角・半月・宝珠」の形をした五輪を重ねた五輪塔に発展したのです。



地は大地のもつ磐石なイメージに通じるもの。水は清浄とか柔軟という性質。火は温かさや汚れを焼き払って清める性質。風は活動と影響の性質。空は包容力や無限の広がりを表わす。

五輪塔は五輪塔婆ともいい、石づくりから

次第に角塔婆や板塔婆となり、現在見られるような細長い板の上部を五輪塔になぞらえ、その表面に悉曇文字で「キャ・カ・ラ・ヴァ・ア」という種子を記し、その下に故人の戒名をしたため追善のためにお墓にたてるようになったのです。



裏面には同じく悉曇で「ヴァン」という金剛界大日如来の種子を記してありますが、これは仏の智慧の水で浄めるといいう意味をもっています。

この種子を記すことにより、植物の種から芽が出るようにいろいろな功德が生ずるといふことなのです。



# 焼香は何回すれば？

焼香には「自らの心身を清め、仏や靈を慎んで供養する」という意味があります。

では、この焼香を何回捧げたらよいかと申しますと、宗派によって異なり、その意味するところも違ってきます。

真言宗では、仏・法・僧という三宝の一つ一つに供養し、三毒の煩惱を消すという意味から三回行いますし、浄土真宗大谷派では心と身を清める意味から二回行い、同じ浄土真宗でも本願寺派では一回で、これは心を清める意味があると言われてます。

もつとも、何宗であれ、参列者が多い場合などには宗派にこだわりなく、一回されるのもよろしいと思います。但し、三回以上されますと、粗相になりますので気を付けて下さい。

## 『募集』

### 靈場巡拝！

#### 西国観音靈場巡拝

期日 平成九年五月二十六日～三十日

(四泊五日)

会費 一〇三、〇〇〇円

※二ヶ年計画で巡拝致します。

但し、今回の巡拝機会を逃すと、次回巡拝する予定が当分ありませんので、是非この際、御参加下さい。



### 小豆島靈場巡拝

期日 平成九年三月二七日～三〇日

(三泊四日)

会費 四六、五〇〇円

※まだ、若干の余裕がありますので、早目にお申し出下さい。

## 平成九年度行事予定

平成九年

三月 九 日(日) 観音大祭 (大柴燈薩摩)

三月 二十 日(木) 彼岸中日 (春分の日)

三月 二十七 日(木) 小豆島巡拝

三月 三十 日(日)

五月 二十六 日(月) 西国観音靈場巡拝

五月 三十 日(金)

七月 三 日(木) 石鎚山参拝

七月 四 日(金)

八月 十五 日(金) 施餓鬼供養

八月 二十四 日(日) 地藏祭り

九月 二十三 日(火) 彼岸中日 (秋分の日)

十二月 三十一 日(水) 年越し祭

(午後十一時半より)

平成十年

二月 三 日(火) 星祭り

(午前十一時より)

三月 八 日(日) 落慶法要・観音大祭

